福岡市和白地域の魅力、活動サークルの紹介など
みなさんの活動に役立つ情報を発信します

地域とあなたが、もっとつながる

wajico

［ワジコ］

vol. 11
2015 Winter

pick up
わじろじまん　地元に伝わる「鯨（くじら）学校」
わじろ元気印　太鼓を継いで20年！元気鼓（げんきっこ）

コミセンわじろ季刊情報誌 wajico vol.11　2015年12月1日発行　［発行］福岡市和白地域交流センター コミセンわじろ　［HP］http://wajiro.info

---

コミセンレポ

— 和白5校区など地域の注目したい情報です —

奈多公民館で、来年1月に地域の新イベントを開催！

ただいま、地域みんなの劇を準備中！

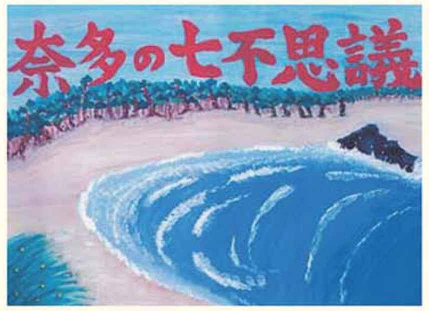
来年１月９日、奈多公民館では、初の試みとして、普段から公民館を利用している地域の団体、サークルが参加してつくる「新年交流会」を開催します。

イベントの中心の催しは、古くから地域に伝えられている「奈多の七不思議」をテーマにした地域の方々がつくる、紙芝居などの劇です。地域のサークルで活動している子どもたちが出演し、奈多公民館内の特設ステージで披露されます。

現在はイベントの成功に向けて、奈多のサークルや団体の方々が協力し、制作を分担しながらひとつの劇をつくるための準備を進めています。イベント当日も、出演者やスタッフの昼食を準備する団体さんもいるなど、みんなで協力しながら進めていく予定です。

また劇の他にも、みんなで歌う童謡「おさななじみ」の替え歌など、楽しいプログラムを準備しています。地域のみなさんの力を結集してつくる初のイベントで、奈多のまちが新春から大変盛り上がりそうです。

▲新イベント会場となる奈多公民館



▲紙芝居「奈多の七不思議」

コミセン活用術

— 私たちの施設を使って、もっと身近に —

充実した生活は健康から。健康な体につながる活用術

日々の健康をつくる、3つのメニュー

3F体育施設は、体を鍛える器具や設備だけでなく、健康な体づくりにつながるメニューがあります。今回は3つのメニューを紹介します。

1つめは「体組成計測定会」です。休館日翌日から2日間限定で、3Fトレーニングルームで行っています。体脂肪率や筋肉量を体組成計で計測します。体のバランスがわかり、毎月測定することで健康状態を管理できます。2つめは、測定会と一緒に使ってもらいたい「健康手帳」です。気になる数値を選んで、継続して記録することで、あなただけの健康手帳がつくれます。希望する方は3Fでお問い合わせください。そして、3つめ。毎月更新の「健康レシピ」では、旬の食材を使ったメニューを紹介しています。食材の持つ効能も掲載。簡単で男性でもつくれますよ！

今回の活用ポイント

◎ 簡単！体組成計で体バランスがわかる。
◎ 健康手帳でしっかり体をチェック可能。
◎ 誰でもつくれるレシピで食から健康！

Personal Health Record
健康手帳
お名前 / Name

からだにおいしいレシピ
11
NOVEMBER

アレルギー抑制、美肌効果など、万能食材
れんこん -lotus root-

調理例　レンコンのお吸い物

作り方

材料（3人分）

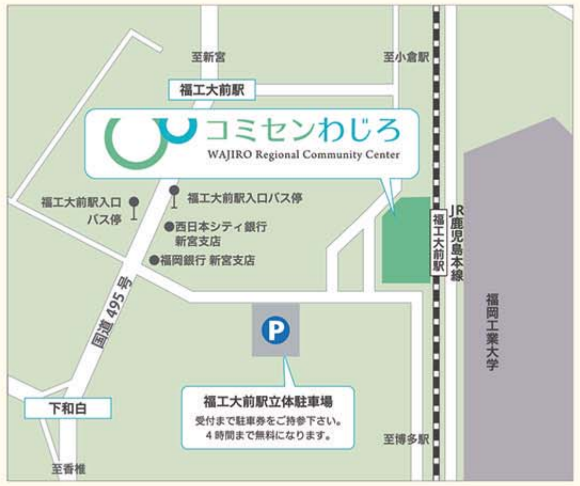
コミセンわじろ

コミセンわじろ
WAJIRO Regional Community Center

公式HP　facebook

〒811-0213　福岡県福岡市東区和白丘１丁目22-27
☎092-608-8480　FAX：092-608-8485
【開館時間】午前９時から午後９時まで（多目的ホールは午後10時まで）
【休館日】毎月最終月曜日（祝日のときは翌日）、及び年末年始（12/28 ～ 1/3）

より詳しい情報は、コミセンわじろ公式ホームページをご覧ください。
公式HP　http://wajiro.info
facebookでも、コミセンわじろの日常を発信中！
facebook　www.facebook.com/komisenwajiro


至新宮
至小倉駅
福工大前駅
コミセンわじろ
WAJIRO Regional Community Center
福工大前駅入口バス停
福工大前駅入口 バス停
西日本シティ銀行 新宮支店
福岡銀行 新宮支店
JR鹿児島本線
福工大前駅
福岡工業大学
国道495号
P
福工大前駅立体駐車場
受付まで駐車券をご持参下さい。
4時間まで無料になります。
下和白
至博多駅
至香椎

地域 文化

わじろじまん

—— 地域にある、次に伝えたい「誇り」をご紹介 ——

地元に伝わる「鯨（くじら）学校」

地域の想いが校舎になった逸話

明治時代、現在の福岡市立和白小学校は、明治６年開校当時の名前は「奈多小学校」と言いました。その後、明治36年に和汐小学校と合併し正式には和白小学校となったのですが、明治15年頃から、地元の人々から『鯨（くじら）学校』と呼ばれていたそうです。

名前の由来として、和白地域の方々が20年ほど前にまとめた『鯨学校由来記』という資料が残っています。それによると、地元の方々が子どもたちのために立派な校舎をつくってあげたいと資金捻出に苦慮していた時期、1881年（明治14年）、村の沖合にくじらが現れました。地元の漁師たちは漁船２隻が沈み６隻が大破するほどの壮絶な漁をして、くじらの捕獲に成功しました。

当時は「鯨一頭で七浦賑わう」と言われたほど、くじらは巨額な富をもたらす獲物、福の神でした。くじら売却で得た当時の金額で約500円分の利益を配分する村会が開かれた際、くじらを引き揚げた漁師たちを当時雇っていた「網元（あみもと＝地域漁業の経営者、代表）」が「自分たちの取り分は要らない、建学の費用に充て欲しい」と利益を小学校建設に寄附、900円の資金が集まり、1882年（明治15年）に和白小学校の校舎は完成しました。この校舎建設の逸話が鯨学校の名前の由来であり、地域に伝わっています。

小学校に残るくじらの資料

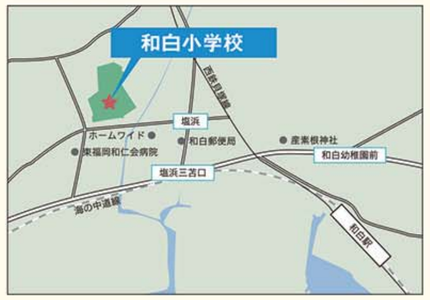
鯨学校の話について、福岡市立和白小学校の蓑原校長にうかがいました。

「この逸話のおかげでしょうか。現在でも和白校区の方々は、和白小学校を『地域の方々が建ててくれた、自分たちの学校』だと、自慢や誇りだと思ってくれているようです。本校の校内でも『くじら学校お話館』という普段からくじらを身近に感じられる掲示コーナーがあります。くじらは小学校のシンボル的な存在であり、学校のマークや掲示板などでくじらの絵を使っています。また、くじらに関する学校の歌もあったりするなど、和白小学校独自の風土づくりに鯨学校のお話を役立てています。」

地域の方々の願いを、今も伝える

小学校の入学式の祝辞で、PTA会長が鯨学校のエピソードについて触れることもあるなど、地元では今でもこの話に残る心意気を大切にしています。「今の学校があるのは、くじらと地域のみなさんのおかげです。子どもたちには、『勉強する環境をつくることで、しっかりと学んで欲しい、そして私たちができなかったことをやってほしい』と願った地域の方々の功績を受け止めて、将来に向けて頑張ってほしい。そんな先人の想いをこれからも伝えていきたいです（蓑原校長）」

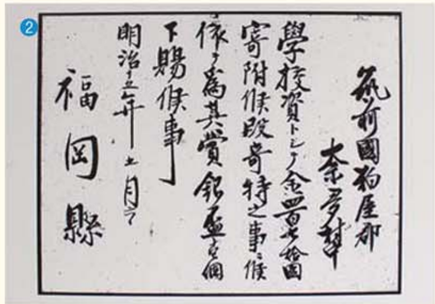
▼エリアマップ（和白駅から徒歩約15分）



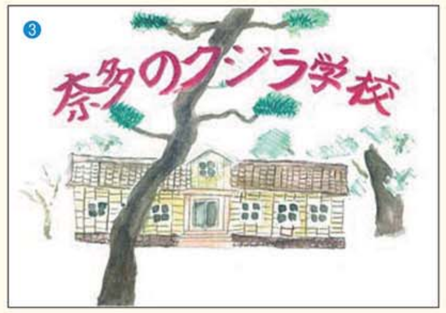
この人に聞きました！

蓑原 宏さん

福岡市立和白小学校校長



筑前國粕屋郡
奈多村
學校資トシテ金四百七拾圓
寄附候段奇特之事ニ候
依テ為其賞銀盃壹個
下賜候事
明治十五年一月
福岡縣



❶ 和白小学校にある「くじら学校お話館」。全国にある鯨由来の学校の話なども紹介している。
❷ 明治15年、福岡県が小学校建設の寄附に際し、当時の奈多村に贈った「賞詞（感謝状）」
❸ 鯨学校の話を要約した紙芝居。和白小学校で現在も使われている。

地域 団体

わじろ元気印

—— この地域で「力いっぱい」活動する団体の情報 ——

太鼓を継いで20年！元気鼓（げんきっこ）

「お囃子（おはやし）」を元気に演奏する

地域の子どもたちから大人までが参加し、勇壮な太鼓演奏を披露する和白東の団体「元気鼓（げんきっこ）」。来年には活動20周年を迎えるなど、益々精力的に練習や活動を続けています。団体の代表である須川さんに、お話をうかがいました。

ー活動をはじめたきっかけは？

平成７年の和白校区夏祭りで企画委員をやっていた頃、地域に伝統芸能をつくろうという意図で、十数名の子ども、数名の大人で演奏を始めたのが最初です。もちろん私も含めて演奏は全員素人だったので、当初は他団体からの指導を受けながらのスタートでした。元気鼓という名前は、２年目を迎える際に当時の子どもたちが付けたもので、『笑顔、楽しむ、声を出す』というチームの大切にしている精神にもつながっています。早いもので、100名以上の子どもたちがこれまでに参加し、来年で活動20周年を迎えます。

ー活動の特徴を教えてください。

わたしたちの演奏は「お囃子（おはやし）」という、大漁や奉納を祝うものです。太鼓の他にも笛や鉦（かね）という楽器が入り賑やかになります。特に笛の演奏は難しく、会得するまで最初の頃は苦労しました。活動の継続も大変な時期はありましたが、歴代の子どもたちの頑張りに加え、自治会（現在の自治協議会）や地域の団体が太鼓を寄贈していただくなどみなさんからの手厚いサポートがあって、現在まで続いています。この活動をきっかけに、高校の太鼓部の部長になった子もいるのが嬉しいですね。今の若者とふれあえるし、私も楽しく活動しています。

ー今後の活動を教えてください。

来年の秋頃に20周年の記念講演を開催します。元気鼓のOBの子たちによる合同演奏会がやりたいです。子どもたちは中学になると活動を卒業してしまうことが多いんですが、大人になっても、また地域の活動に戻って来て欲しいですね。「みんなおいでよ」という気持ちで久しぶりに一緒にやりたいなと思っています。

この人に聞きました！

須川 哲治 さん

元気鼓　代表

HP http://genkitaiko.jimdo.com

活動に興味がある方は、お問い合わせください。

応援課だより

—— 地域がつながる、盛り上がる活動を応援 ——

今回は館内のデジタルサイネージに注目！

5分に1回、みなさんの５校区の歩みや活動情報を流しています。

いつもみなさんに館内の利用情報などを提供している、2Fと3Fのデジタルサイネージ。この秋から、公民館や自治協議会のみなさんの協力でつくった、新しい記事を流しています。各校区の面積や人口など基本情報、歴史などを紹介する「校区の歩み」、校区の行事や取り組みを紹介する「校区の活動」など。約５分に１回流れます。応援課は今後も、魅力ある地域の文化や活動を応援します。

応援課へのご相談や
お問い合わせはコチラまで

☎ 092-608-8480
✉ support@wajiro.info

相談員・スタッフが対応いたします。
日程調整から、お気軽にお電話ください。
応援課情報も載っているFacebook!
https://www.facebook.com/komisenwajiro
チェックよろしくお願いいたします!